

事業活動と環境負荷

事業が環境に与える負荷を、製品のライフサイクルをとおして数値で把握しています。

くらしやビジネスに溶けこんだ富士通グループのさまざまな製品は、開発・設計から回収・再利用までの幅広い局面で環境負荷を生み出しています。その全体像を数値で把握し、各段階でライフサイクルとサプライチェーンの2つの視点で環境に配慮した多様な対策をはかることで、私たち自身はもとより、お客さまや社会全体の環境負荷低減に貢献していきます。こうした努力を続けながら、より付加価値の高い製品やサービスを提供することが私たちの事業活動の基本です。

算出方法

製造

- 化学物質 2003年度の工場、事業所におけるPRTR法の対象とされる化学物質の取扱量
- 原材料 2003年度に出荷した主要製品への材料投入量と、それらが資源採掘され、原材料になるまでのCO₂排出量
(各製品1台あたりの原材料使用量×2003年度出荷台数)
主要製品: パソコン、携帯電話、サーバ、スキャナ、プリンタ、光磁気ディスク、小型磁気ディスク、ディスクアレイ、金融端末製品、流通端末製品、IPネットワーク製品、電子デバイス
- エネルギー 2003年度の工場、事業所における電力、油、ガスの消費量
- 水 2003年度に工場、事業所において使用された量

IN

化学物質
3,033トン

水
29,131,626m³

原材料
 金属 35,611トン
 プラスチック 6,291トン
 ガラス 6,228トン
 その他 8,895トン
 (プリント板ユニット、
 半導体など)
 CO₂排出量 776,775トン-CO₂

エネルギー
 購入電力 2,016,872MWh
 重油、灯油 146,612kℓ
 LPG、LNG 9,623トン
 天然ガス、都市ガス 19,235千m³
 地域熱供給(冷暖房用) 40,055GJ
 計 2,681万GJ



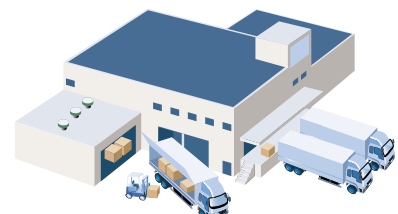
開発・設計

お客さまが製品を使用する際のエネルギー効率、廃棄する際のライフサイクル性などを考えた製品環境アセスメントの実施、グリーン製品の開発などを行っています。



調達

製品に組み込む部品/材料として、できる限り環境負荷の小さなものを選択して調達しています。



製造

事業所を中心に、材料となる資源、エネルギー、水などの使用量を最小限にとどめる省エネルギー活動や、埋立処分、単純焼却をゼロにするゼロエミッション活動を行っています。また、化学物質の排出削減活動も実施しています。

OUT

化学物質
68トン

大気排出
 CO₂ 1,291,607トン-CO₂
 SOx 588トン
 NOx 805トン

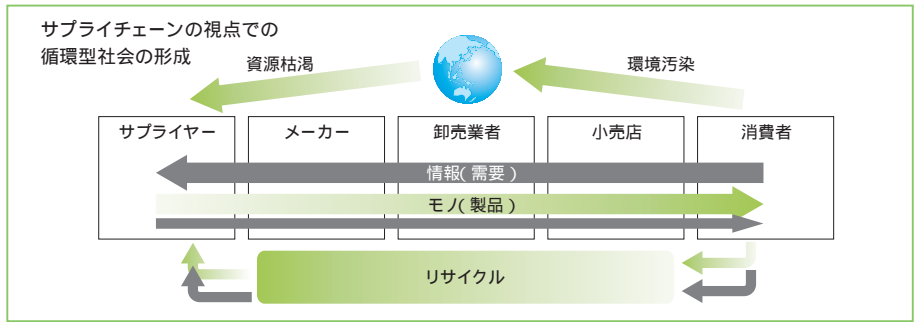
排水
25,312,418m³
 BOD 279トン
 COD 404トン

廃棄物
 廃棄物発生量 50,713トン
 サーマルサイクル量 10,130トン
 マテリアルサイクル量 36,448トン
 廃棄物処分量 4,135トン

算出方法

製造

- 化学物質 2003年度のPRTR法の対象とされる化学物質の工場の排水溝や排気口から排出される濃度を測定し、総排出量(ニッケル化合物、マンガン化合物などの場合)または総排気量(キシレン、トルエンなどの場合)を乗じて算出、あるいは化学物質の収支量(キシレン、トルエンの場合)に基づき算出
- 大気排出 CO₂:2003年度の工場、事業所におけるエネルギー消費に伴うCO₂排出量(エネルギー消費量×CO₂換算係数)
NOx、SOx:2003年度の工場、事業所の排気口(ボイラーなど)から排出される排ガス中の物質濃度を測定した排出量に基づき算出
- 排水 2003年度に工場、事業所から下水道または河川に排水された量
BOD:水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素の量で、事業排水の有機汚濁排出量を測る
COD:水中の有機物を酸化剤で化学的に分解した際に消費される酸素の量で、事業排水の有機汚濁排出量を測る
- 廃棄物 廃棄物発生量:2003年度に工場・事業所において廃棄物として処分された量
廃棄物処分量:2003年度に工場、事業所において埋立処分、単純焼却された量(ゼロエミッション対象外廃棄物を含む)



物流・販売

- エネルギー 輸送による大気排出CO₂が、すべて軽油燃料によると仮定した場合の消費燃料量 (換算係数:2.64kg-CO₂/リットル軽油)

使用

- エネルギー 2003年度に出荷した主要製品の消費電力量 (各製品1台あたりの想定使用時間・年数における消費電力量×2003年度出荷台数)

回収・再使用/再利用

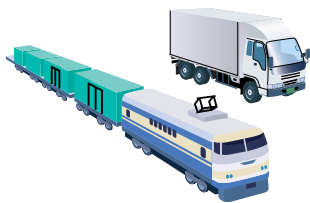
社団法人電子情報技術産業協会によって示された算定方法に基づく、使用済み製品の処理量に対する再生部品・再生資源の重量比率。ただし、使用済みの電子機器製品以外の回収廃棄物は除く。

エネルギー

燃料(軽油)
8,137kℓ

エネルギー

電力
9,327,890MWh
(9,169万GJ)



資源再利用率 86.6%
回収量 12,172トン

一部部材は
クローズド・
リサイクル
されます。

回収
再使用
再利用

物流・販売

製品の輸送やお客さまへの納入の際に、消費するエネルギー使用量を抑制し、大気中への排ガス排出量の低減をはかっています。

使用

製品の省エネルギーをはかっています。また長く製品をご使用いただくため、性能・機能を拡張できる構造とし、保守・修理を行っています。

回収・再使用化 / 再利用化

使用済み製品の回収、再使用、再利用をはかるためのエネルギー使用量を抑制しています。なお、廃棄物の処理については、有効利用を進めています。一部埋立て処分も行っています。

大気排出

CO₂
21,482トン-CO₂

大気排出

CO₂
3,796,451トン-CO₂

物流・販売

- 大気排出 2003年度の輸送業務において、燃料消費量が把握できる場合はその量より算出し、混載便のような当社以外の荷物が含まれる場合は「輸送距離×貨物重量×係数」により算出し、両方を合計したCO₂量

使用

- 大気排出 2003年度に出荷した主要製品から使用時に排出されるCO₂量 (各製品1台あたりの想定使用時間・年数におけるCO₂排出量×2003年度出荷台数)

次ページではノートパソコンでの例をご紹介します。

